

事務事業名		社会援護推進事業			会計		一般会計					
H27担当課等名		福祉課		H27係等名		厚生係		H26係等名		地域福祉係		
基本計画上の位置づけ		政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり			事業種別	経常	開始		終了	
		施策	36	生活困難者の自立及び支援								
目的	対象(誰・何を)	市民				対象指標	指標名及び単位		26年度数値			
	意図(どういう状態にするか)	市民が犯罪のない安全な社会で暮らせる					市民の人数 (人)		102446			
	向上させたい上位施策の成果指標	生活相談者数/人口(外国人を含む)(%)										
目標	種別	指標名及び単位				26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	社会を明るくする運動事業参加者数/市民の人数(%)				3.5	4.1	3.5	3			
	定性目標											
	事業概要											
<p>保護司会の各種活動及び“社会を明るくする運動”を通して、更生保護・犯罪予防運動を行う。同時に、市民の更生保護活動への関心を高めることを目的とする。</p>												
26年度事業内容	事業内容					名称			活動指標			
	1長野県更生保護大会への参加(松本市)					1 参加者数			1 15人			
	2保護司研修会の開催					2 研修会開催数			2 6回			
	3社会を明るくする運動の実施・推進					3			3			
	(1)愛のはがき募金					(1)回数			(1) 1回			
	(2)公開ケース研究会					(2)参加者数			(2) 115人			
	(3)地区講演会					(3)参加者数			(3) 185人			
	(4)中学生対象講話会					(4)参加者数			(4) 300人			
	(5)小中学生への啓発活動					(5)実施校数			(5) 28校			
(6)作文コンテスト					(6)応募者数			(6) 1,441人				
(7)ミニ集会					(7)参加者数			(7) 2,230人				
(8)広報活動					(8)実施回数			(8) 10回				
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足						
事業費計(千円)①		27	26	19	32							
国庫支出金												
県支出金												
起債												
その他												
一般財源		27	26	19	32							
人件費計(千円)②		4,649		4,291								
正規職員所要時間		1,300		1,200								
臨時職員所要時間												
総事業費①+②		4,676	26	4,310	32							
事業内容・目標達成状況の振り返り	各事業に参加した市民からは、積極的な意見や講演内容に関して良い反応をいただいた。同目標は達成したが、今後さらに多くの市民が何らかの形で社明運動の事業を知り、参加できることを目指す必要がある。											
改革改善の考え方	①問題点	社会を明るくする運動の各事業について、毎年地区を変えながら開催しているが、まだまだ「更生保護」や「社会を明るくする運動」の知名度・理解度は低い。事業の内容や開催の方法を見直す時期がきている。										
	②改革提案	現在は屋内で開催する事業がほとんどであり、参加者が限られてしまう。屋外型の事業を考えるなど、広く市民に「更生保護」「社会を明るくする運動」について知ってもらう機会を作る必要がある。										